

**博士課程前期 2 年の課程**  
**一般選抜（令和 5 年 4 月入学）**  
**専門科目試験問題（都市・建築計画学講座）**  
**Master's Program Entrance Examination**  
**Regular Program (for Entry in April 2023)**  
**Questions (Architecture and Urban Planning Course)**

◆注意事項 / Notice

(1) 配布物は以下の通りである。

Following sheets are distributed;

- 問題用紙 7 枚（表紙を除く） / 7 of question sheets (except this cover sheet)

- 解答用紙 7 枚 / 7 of answer sheets

(2) 解答用紙には、問題番号と受験番号のみを記入し、氏名を書いてはならない。受験番号のないもの、また、受験者の氏名を書いてある解答は無効となるので注意すること。

Write the question number of your answer and your examination identification number on the top of each answer sheet. Do NOT write your name. If you don't follow the directions, your answer will be invalidated.

(3) 問題は全部で 7 問である。各問題に対し、別々の解答用紙に A4 一枚以内で答えること。

There are seven (7) questions. Write the answer of each question on the different answer sheet, no more than one A4 sheet.

問題 1-1 (50 点)



図 1-1-1



図 1-1-2

- (1) 図 1-1-1、図 1-1-2 それぞれの建造物名称と所在地を答えよ。  
(各 5 点、計 10 点)
- (2) 中世末から近世初頭までにおける天守閣の歴史について、上記 2 棟の特徴と差異を明確にしながらかつ「楼閣」および「遞減」という言葉を用いながら詳述せよ。  
(40 点)

### 問題 1-2 (50 点)

下の図の建築について、その特徴を解答用紙 1 枚以内で説明せよ。ただし、次の四つの語句をすべて 1 回以上使用すること。

ファサード    ドーム    菱形    角地

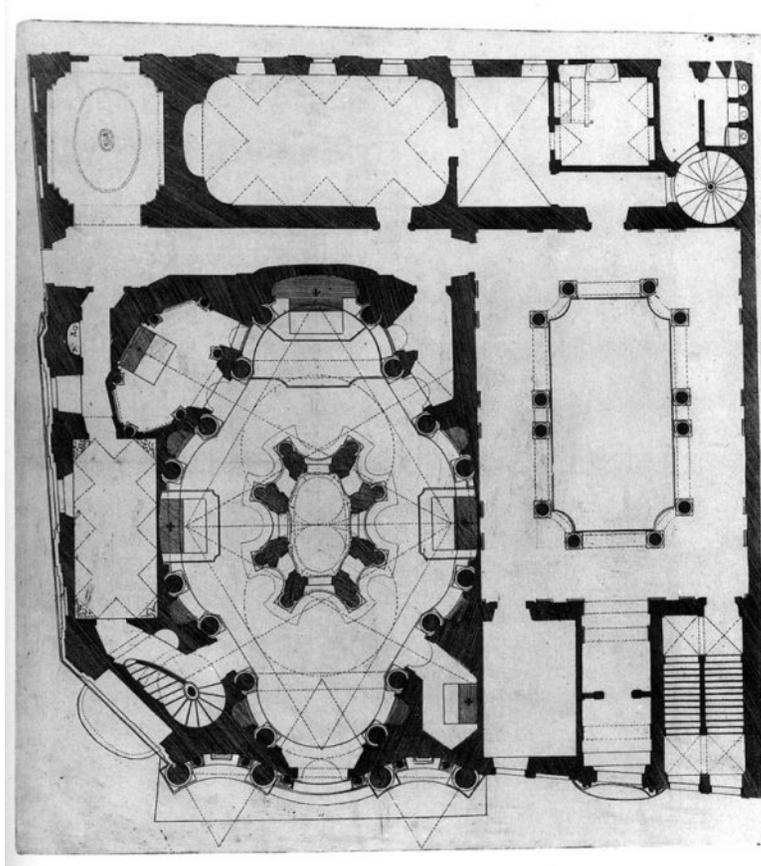


図 1-2-1

## 問題 2-1 (50 点)

都市圏の計画に関する以下の問いに答えなさい。

(1) クラーセンとパーリンクの「都市の成長衰退モデル」(都市発展段階論)は、都市圏(「中心都市」と「郊外地域」)の成長衰退プロセスを4段階に区分(8段階に細区分)して示したものである。このモデルの内容について説明しなさい(必要に応じて図表を用いても良い)。(20点)

(2) 上記区分されたそれぞれの局面において、「中心都市」と「郊外地域」の空間計画に関してはさまざまな地域(広域)計画的な調整・連携が求められる。以下に挙げるものがその典型例である。これらの中から一つ選択し、その内容、必要性や課題等について具体的に論じなさい。(30点)

- ・土地利用の調整
- ・商業施設の立地調整
- ・公共施設の立地連携

## 問題 2-2 (50 点)

将来的な都市災害を軽減するための事前対策として「(a) 被害抑止策 (Mitigation)」と「(b) 被害軽減のための事前準備 (Preparedness)」がある。

- (1) 二つの対策について、両者の違いを明確にしながら簡潔に説明しなさい。(10 点)
- (2) 図 2-2-1 は縦軸に「都市の物理量 (たとえば、建物総数、インフラ整備状況、人口など、都市の物的環境を定量的に示した概念)」、横軸に「時間」をとり、ハザードが襲来した際の都市環境への影響をモデル化し、都市における「(a) 被害抑止策 (Mitigation)」の有効性を示したものである。(1) であなたが説明した定義を踏まえ、この図をあなたなりに説明しなさい。ただし、「ハザード」「抑止力」「災害」「減災力」「時間」「被害抑止策」「被害軽減のための事前準備」の各用語を最低 1 度は用いること。(10 点)
- (3) 「被害抑止力」を高めるためには、いくつかの要素が不可欠である。どのような要素が必要となるかを複数取り上げ、それらの要素を踏まえた「(a) 被害抑止策 (Mitigation)」に関する自治体の立場からの課題を、具体的なハザードと対策の例を示しながら述べなさい。(30 点)

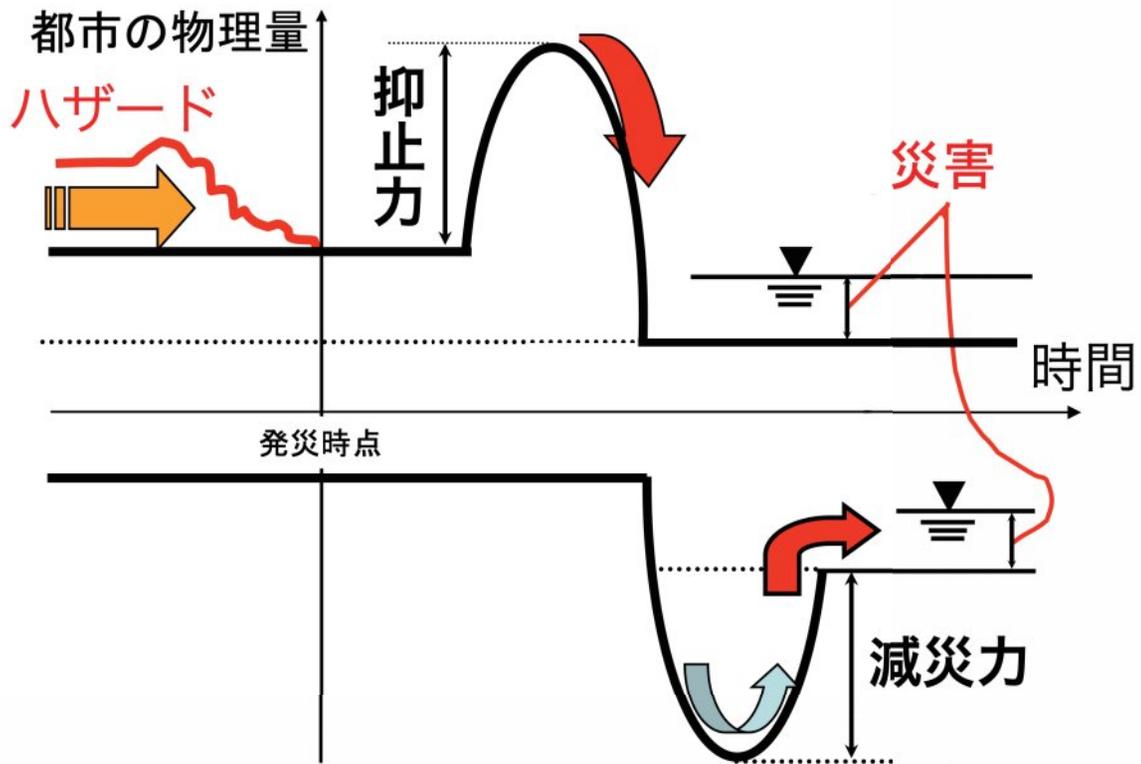


図 2-2-1

### 問題 3-1 (26 点)

1983年、建設省（現：国土交通省）住宅局では、地域の実情に合わせた住宅政策の必要性を鑑み、国の補助事業として「地域住宅計画（通称 HOPE 計画）」を創設した。その目指すところは以下の3つである。

- ①. 地域の特性を踏まえた質の高い居住空間の整備
- ②. 地域の発意と創意による住まいづくりの実施
- ③. 地域住宅文化、地域住宅生産等にわたった広範な住宅政策の展開

ところで我が国の第2次世界大戦後の住宅政策は、以下の理由等により、歴史的に大きく転換してきた。

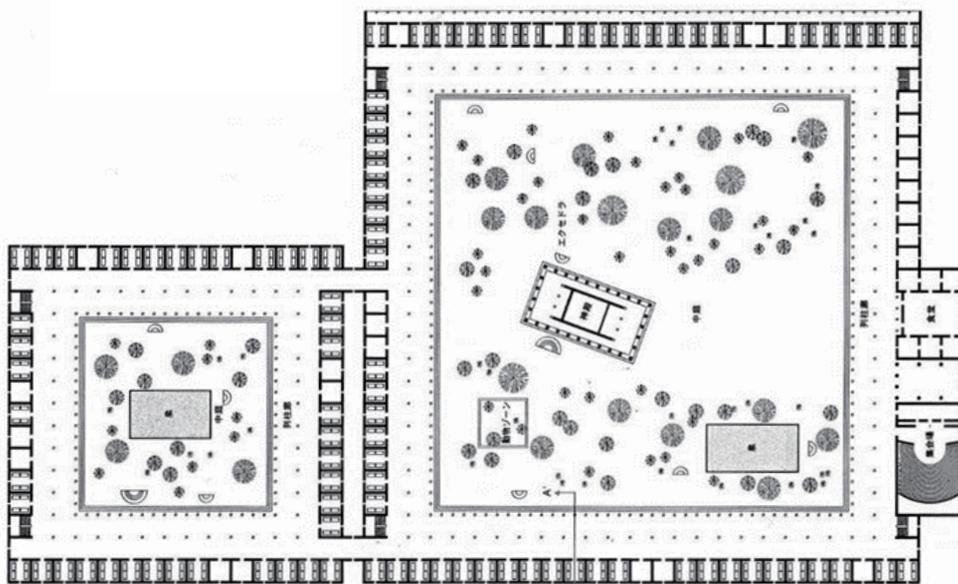
1. 戦後の人口・世帯増、大都市部への人口集中時代の住宅不足の時代から、住宅数が世帯数を上回り、現在は人口・世帯数が減少し、空家、空地が増加、また高齢化が進行し超高齢社会を迎えていること
2. 特に地方部において、住宅の規格化、部品化が進み、地域での住宅産業を始めとする地域経済の疲弊が顕在化し、地方の活性化の必要性が認識されたこと
3. 1970年代頃から、主に2.の理由により、全国の住まいや街並みの景観が画一化され、ふるさとの喪失が問題視され始めた。そのため「伝統的建造物保存地区」が制定されるなど、地域のアイデンティティの保護、保全などが行われ始めたこと
4. 我が国の政策が中央集権的から地方分権重視へと転換してきたこと

この1.～4.の歴史的変遷、あるいはその変化を予測し、1983年に「地域住宅計画」が創設された。このことを鑑み、地域住宅計画の目指すところの3つ、①. ②. ③.の具体的に実施すべき内容を、解答用紙に①. ②. ③.の番号を記し、順に簡潔に述べよ。（配点は①：8点、②：6点、③：12点）

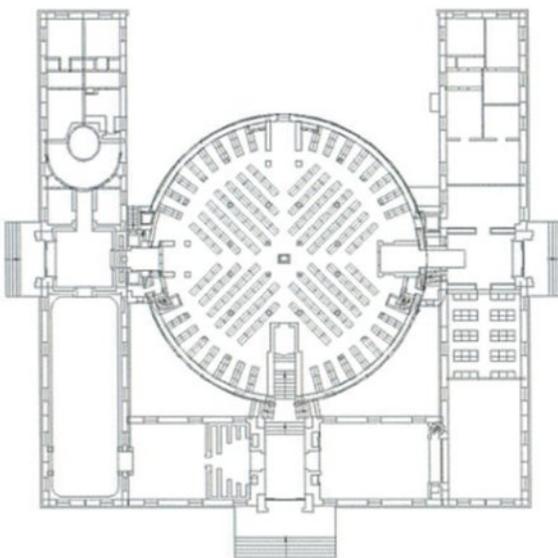
### 問題 3-2 (37 点)

図 3-2-1 はある図書館計画上重要な施設の想定復元図と平・断面図です。これを見て下の問いに答えなさい。

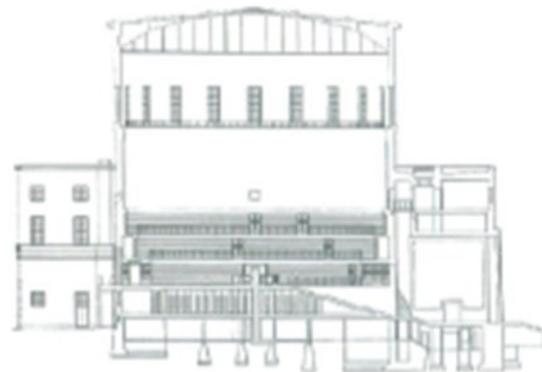
- (1) A の図書館は古代エジプト王国に建てられたとされる図書館の平面を復元したものです。その名称は何ですか。また、ここに収蔵されていた資料はどのような材料からつくられていたでしょうか。(2 点、3 点)
- (2) A 図書館の事例のように図書館は非常に古い施設型ですが、ドイツのゲーテンベルグが 1450 年ごろに開発した発明を通じて、大きく変化します。それはどのような発明ですか。また、その発明によって西欧社会にどのような変化が生まれ、それによって図書館という施設型はどのように変化したでしょうか。貴方の考えを述べなさい。(2 点、18 点)
- (3) B 図書館は (2) の社会変革の後に建てられた有名な図書館です。設計者の名前は何ですか。また、この図書館はどのような空間的特徴を有しているのでしょうか。その特徴をその背景にある考え方を踏まえながら分かりやすく説明してください (2 点、10 点)



A Library Assumed Plan



B Library Plan



B Library Section

図 3-2-1

### 問題 3-3 (37 点)

図 3-3-1 は、1950 年代後半に日本住宅公団によって建設された集合住宅である。

- (1) この住宅の名称を答えよ。(5 点)
- (2) この住宅の設計者を答えよ。(5 点)
- (3) この住宅はエレベータが 1・3・6・9 階のみに着床し、その他の階には階段でアクセスする方式を採用している。このアクセス方式の名称を答えよ。(5 点)
- (4) 図面を見て、住戸平面の特徴を 3 つ述べよ。(12 点)
- (5) この住宅は高度経済成長期に東京湾の埋立地に建設された。どのような住宅需要が背景となりこのような住宅が建設されたと考えられるか。(10 点)

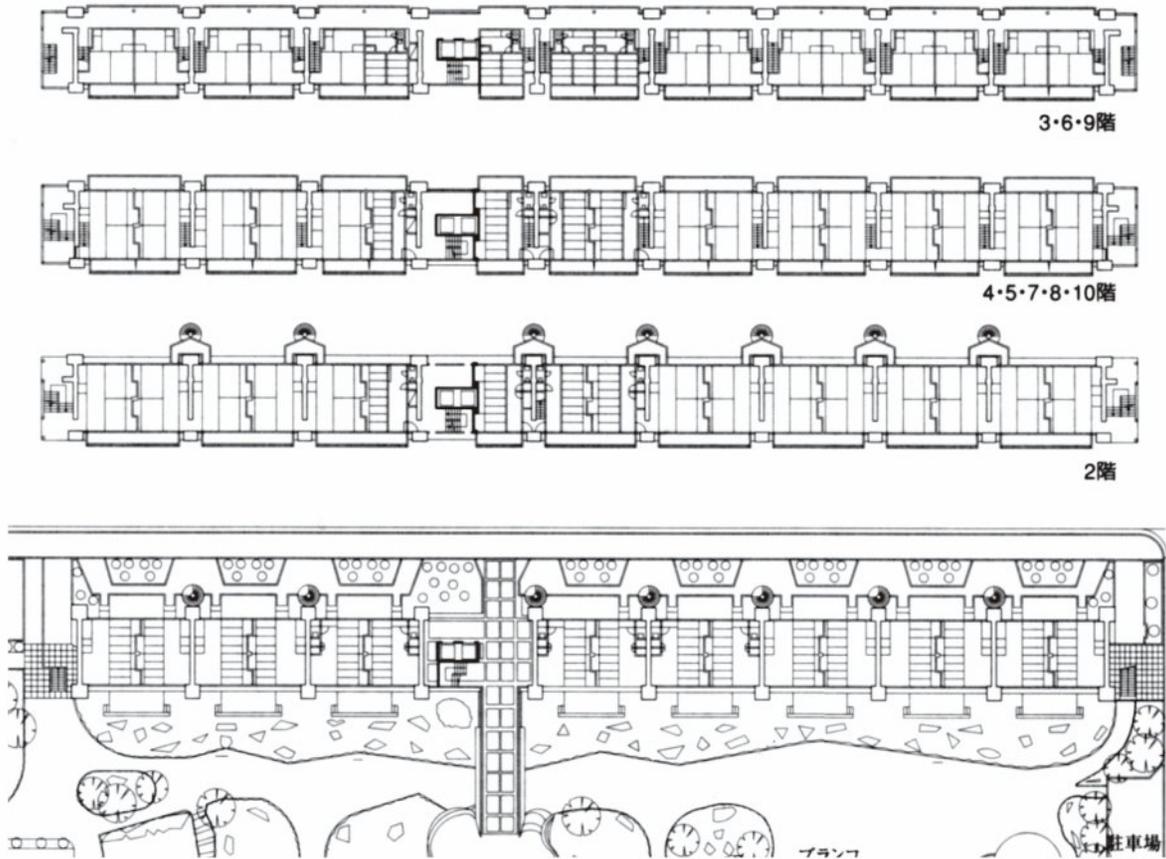


図 3-3-1